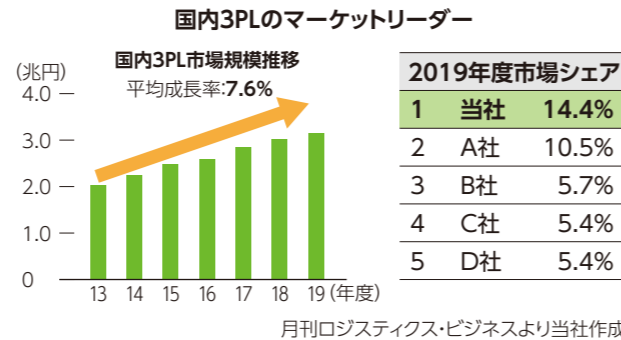


3PL事業(国内)

お客様のサプライチェーンのさまざまなステージにおける物流業務やその周辺業務について、包括的なアウトソーシングサービスと、それを支える卓越したIT・技術力により、サービス水準と物流効率の向上を可能にします。第一人者ならではの豊富なノウハウとコンサルティング力、各種インフラを駆使し、最適な物流ソリューションを提供するとともに、お客様やパートナーと、最新テクノロジーを活用した次世代物流技術の協創・実装に挑み続け、常に進化の歩みをリードしています。

市場における日立物流グループの位置づけ

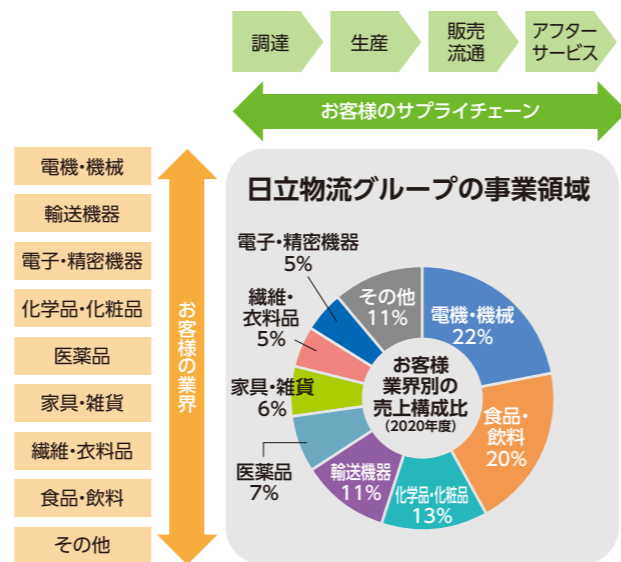
日立物流グループは、成長を続ける国内3PL市場において、幅広い業種・業界のお客様の企業物流業務を包括的に受託しているマーケットリーダーです(右図参照)。1980年代からサービスを提供する3PLの先駆者であり、豊富な実績に基づく提案力と、お客様を熟知したプロによる運営力で、日本のサプライチェーンを支えています。



主なサービス内容

- **調達物流:** 仕入れ品の引き取りから検収・保管・供給まで、一括で対応します。VMI^{※1}や部品の組立・塗装、生産ライン向けの配膳など、高付加価値なサービスを提供しています。
- **生産物流:** 資材・製品の管理・包装・発送など、製造工程におけるさまざまな物流業務を請け負います。包装のプロによる、製品特性・物流条件に応じた最適な包装ソリューションも提供しています。
- **販売物流:** 拠点配置、在庫水準の見直しなど、サプライチェーンの設計時から包括的に支援します。最新技術を駆使した高品質・高効率な物流設計、運営を行い、お客様の受注・販売拡大を支えています。
- **ソリューション:** 情報通信機器向けに物流とCE^{※2}を融合したサービスや、危険物・化学品向けの共同物流サービスなど、付加価値の高いソリューションを多数提供しています。

※1 VMI: Vendor Management Inventoryの略
 ※2 CE: Customer Engineerの略。情報通信機器の設定・動作確認などの作業を行う



協創による次世代物流技術の研究開発

5Gを活用した物流の高度化 (KDDI(株)との共同取り組み)

当社とKDDI(株)は、5Gを活用した物流の高度化に向けた取り組みを共同で行っており、2020年度からは首都圏地区の当社グループ物流センター内に5G環境を構築し、実証実験を行っています。5Gを活用し、現場に設置した4Kカメラ映像のAI解析・異常検知・通知をリアルタイムで行うことで、衝突・転倒の危険回避や作業効率の向上など、ヒトの判断や行動の高度化に繋げることをめざしています。



AIフォークリフトの開発 (日立製作所との共同取り組み)

当社グループでは一部の拠点に無人フォークリフトを導入していますが、安全面からヒトと環境を分離する必要があるほか、事前設定した単純タスクしかこなせないなど、物流現場での運用には制約もあります。当社と日立製作所は、無人フォークリフトにAIを組み合わせて、WMSなどの管理システムおよび他の設備と連携して統合的に群制御することで、無人フォークリフトとヒトの協働作業の実現をめざした共同研究を行っています。



2020年度の実績

業績(概算値)

売上収益: **3,682億円** (前年度比 ▲84億円)
 営業利益: **231.3億円** (前年度比 +5.2億円)

受注・立上

受注: **16件**
 立上: **17件**

2020年度トピックス

- **2021年2月:** 東日本第二メディカル物流センターを開設
 → 医薬品物流事業の強化、省人化センターの実現
- **2021年2月:** 水戸輸送センターを開設
 → 輸送事業強化に向けた共同ターミナル [▶ P.32](#)
- **2021年3月:** RFIDを活用した新サービス「レコビス」提供開始
 → レンタルやシェアリング事業に必要なシステム・物流等の統合サービス、消費志向の変化に対応した価値提供 [▶ P.86](#)

東日本第二メディカル物流センター

- GDP^{*}に準拠した物流センターであり、温度管理、セキュリティ管理等の厳格な品質管理を行っています。
- 免震構造の採用、自家発電設備の導入など、メディカル事業者様のBCP強化に対応しています。
- 次世代省人化センターの実現に向け、AGV(自動搬送車)、無人フォークリフトなどの先進技術を実装しています。

*GDP(Good Distribution Practice): 厳密な品質管理の確保を目的とした「医薬品の適正流通基準」



所在地	埼玉県加須市北大桑152-1
敷地面積/延床面積	約29,850㎡/約32,250㎡

省人化設備等の導入



ESGトピックス

当社の取り組み

- 輸送モードの見直しや輸送効率の向上、共同配送によるCO₂排出量の削減
- 包装の見直しによる廃棄物削減、積載効率向上によるCO₂排出量の削減

2020年度トピックス

- **2020年7月:** 第21回物流環境大賞「物流環境特別賞」を受賞
- **2020年10月:** 2020日本パッケージングコンテスト「経済産業省製造産業局長賞」「適正包装賞」「大型・重量物包装部門賞」をトリプル受賞
- **2020年11月:** 当社グループ(2件)が「令和2年度モデルシフト取り組み優良事業者賞(有効活用部門賞)」を受賞

包装ソリューション

包装技術専門の施設(テクニカルセンタ)を有し、定量的な蓄積データと評価試験結果に基づいた最適な包装ソリューションを提案しています。



担当役員メッセージ

2020年度はコロナ禍の影響により全体的な物量は落ち込んだ一方、食品・衛生用品・EC等の需要は増加しており、当社グループは社会のライフラインとして、安定的な物流業務の維持に注力してきました。経済の回復に伴い荷動きは回復傾向にありますが、サプライチェーンの見直しや自動化・省人化設備導入の機運が高まっており、当社グループは強みである提案力・運営力や、先進的なIT・技術力を一層発揮し、お客様と社会への価値提供に努めていきます。

渡辺 亨
 執行役専務
 東日本統括本部長

